



はじめまして。今年の3月から今津教室で非常勤講師をさせていただいている入江大心と申します。僕は5歳のときから今

福教室でアップル(現在のパスカルキッズ)、小学部、中学部に通い、高校3年のときにはカイチ予備校でお世話になりました。現在、大学で教師になるために勉強しています。その目標に向かって先生としての経験を積むためにカイチで働かせていただいています。カイチに長い間お世話になっている僕が今回話すのは、「勉強をする意味」です。

僕はカイチに通い始めた頃、初めての勉強を楽しんでいましたが、小学校高学年になった頃

勉強をする意味

には毎週出る宿題を徐々にサボって忘れるようになり、よく今福教室の川西先生に怒られていました。そのとき、僕は「勉強したって将来就職したときに役に立つかなあ?」と思いつつ、親に言われたから通い続けていました。そんなことをずっと思いながら勉強していたこともあり、高校受験では私立高校に受かったのに満足して、第一志望だった公立高校に落ちてしまいました。そのとき、何事も結果がすべてではなくその過程が大切だと気付きました。しかし、それから受けた大学受験ではそれを生かせず、第一志望の国立大学に合格できませんでした。

現在、このコラムを書いていて、これまで文章を書いてこなかったのが、思ったことを表現できず、何度も試行錯誤したので、文章力がとても大事だと思いました。日々の努力が実を結び、これ

が勉強の真髄であり、これに耐えうる忍耐力を身につけること、これが僕にとって「勉強をする意味」です。

それぞれに「勉強をする意味」はいろいろあると思いますが、中にはカイチ生でなぜ自分が勉強をしているのかわからず、勉強のやる気が起きないという人もいるかもしれません。そういう人達に「勉強をする意味」を伝えたいと思います。もし今悩んでいる人がいるなら、誰かに相談するのが一番だと思います。カイチの先生は一人ひとりの相談にしっかりとってくれるので、遠慮せず相談してみてください。僕も先生として少しでも生徒の皆さんの役に立てたらいいなと思っているので、見かけたら話しかけていただけると嬉しいです。これからよろしくお祈りします。



伊藤のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 伊藤 喜章 (万緑会)

春期講習課題“SDGs”について

このgrowingの記事が出るころにはGWも終わり、ひと段落している頃でしょうか。

私が教えている上本町にある万緑会では年少～小学4年生までの生徒が小学受験や中学受験に向けて日々頑張っているところです。

今年の万緑会能力開発クラスの春期講習では、恭子先生考案のもと、今話題の「SDGs」について本を読み、あなたならどうするかという課題をそれぞれやらしてもらいました。

そもそも、SDGsとは一体何でしょうか。

地球上には地球や環境問題、戦争、貧困問題などありとあらゆる問題があります。その問題が解決され、地球上の「誰一人取り残さない」で皆が安心して地球で暮らし続けていけることが理想です。



▲実際に写真を見て考えてもらいました

そのために、国連のサミットで、地球上で起こっている問題を整理して解決への道筋を作った計画「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(※アジェンダ＝

計画)が定められました。

この中に記載されたものが「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」略してSDGsです。

SDGsの中に2030年までに達成を目指す17の目標が定められています。今回の講習ではSDGsの17の目標を6つにしぼり、それぞれ自分が読みたい推薦本を選んで、その1つの目標を理解し、まとめ、どうしたら地球が良くなるのかを考えてもらいました。

なかなか小学4年生までの生徒に「貧困について」どうしたらいいか、「安全な水を世界中に」と言っても、理解するだけでも精一杯でした。



◀みんなの感想+意見を掲示しています



① 水とトイレがなかったら

夏休み、田舎のおじいさんの家に遊びに行った春樹。おじいさんの家のトイレを見た春樹におじいさんは、トイレに苦労してきた世界の歴史を語る。



② 未来を変えるレストラン

お母さんとケンカして、おばあちゃん家に、家を出したサラ。どんなものも丁寧に再利用しているおばあちゃんの暮らしを見て、食べ物への意識が変わっていく。



③ ぼくらの青

剛志は、ある日兄の正孝に誘われて海岸のゴミ拾いをするようになる。ゴミの多さに驚いた剛志は、あらためて海の抱える問題に気づきはじめる。

カイチからのお知らせ

- 5月30日(月)・31日(火)は小学診断テストです。
- 5月中旬より各中学で中間テストが実施されます。それに伴い塾内では定期テスト対策を実施いたします。お子様の学習の様子に不安があります時は各教室にご遠慮なくご相談ください。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

「ノルマ」ではなく「目標」を持とう

先日、リニューアルするHPの写真撮影のために今福教室に行きました。すると、生徒達が、本当に思春期かいな?と疑いたくなるほど元気。しかも、撮影にも協力的(みんなありがとうございました)。生徒達に「やらせやー!」とか言われながらも、質疑対応のシーンを再現してもらったり、手を上げてもらったり…。みんなからエネルギーがもたらされたそんな時間でした。



▲みんなめっちゃ元気!岸田先生も楽しそう。

突然ですが、皆さんは目標を持っていますか?もし、先生がこれから人生を切り開いていく子供達や若い人たちに「人生で大切なことを1つだけ教えて」と聞かれたら、迷わず目標を持つことだと話します。



▲「手を上げて!」とお願いして取った写真。川西先生が一番嫌そうです。

ここで注意して欲しいことは「目標」と「ノルマ」は違うということです。例えば、定期テスト前にはスケジュールシートを使った面談があります。その時、目標得点を書きますが、先生に「90点絶対取れ!」と言われて、無理やり決めさせられているのならこれは「ノルマ」。でも、先生と話して、90点取ることで、行く高校が変わったり、自分に自信が持てたり、

なにより先生の話聞いていたら何だかできそうだなと納得して決めた点数は「目標」です。「ノルマ」と「目標」の違いは本人に納得感があるかどうか、それを達成できることでワクワクできるかどうかです。実は、先生もカイチの社員の先生達と年2回、この目標を決める面談をしています。短くて1時間、長い先生は2時間はかかります。その時、各先生達が用意してくるのが「ジブン年表」。先生達は生まれてから死ぬまでの年表を書いてきます。

「ジブン年表」を書く面白なのは、自分の過去を振り返ることで「自分が強く影響を受けている出来事は何か」や

「なぜ自分が今の仕事をしているのか」などを知ることができます。また、それを知ることで、将来はこんなことをしてみたいなと考える事ができます。

人間は元来、自分に嘘をつくことができず、自分の信条に外れたことは努力できません。ですから、ジブン年表を使いながら先生達のしたいこと、カイチという会社全体がしたいことを重ねながら各自の1年の目標を決めます。こうすると、先生達一人ひとりとカイチ全体、両方の足並みを合わせて歩むことができるのではないかと考えています。

皆さんは「ノルマ」ではなく、自分で納得のいく「目標」を持っていますか? そのちょうどよいトレーニングになるのが、実は定期テストや受験です。カイチの先生達と話し合いながら、自分で納得のできる「目標」をまずは、次の中間テストで持ってみましょう。そして、それを決めたなら、自分でテスト勉強をしながら今の努力でその点数が達成できるかどうかを自分の胸に手を当てて聞いてみましょう。すると自然と「大丈夫」とか「まだ足りない」とわかります。怠けている時は、先生に叱られることもあるかもしれませんが、でも、そんな時も、このままだと目標に行かないから叱られているのだなと納得できるようになります。

定期テストで「目標」に対して努力できるようになると、次は、志望校合格を目標に据えるようにしてみましょう。すると、この高校に合格するためには、定期テストで平均何点ぐらい、模試だと何点ぐらい必要と複数の小さな「目標」の先に、志望校合格があることが分かります。

実は世の中の数々の偉業や、様々な夢は、それに紐づく小さな目標達成の積み重ねで形作られています。

夢を持つと、それを叶えるために達成しなくてはならない目標が見える。目標は夢へと繋がる階段のようなものです。1つ1つの目標をクリアすることで夢に近づいていけます。

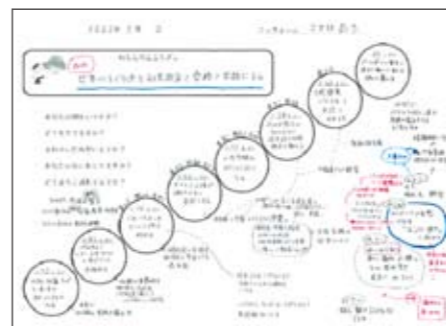
人が勉強しなければならない理由は、様々なことを幅広く知ること自分の夢に繋がる興味、関心があるものを発見するためと、夢を現実にするための目標を達成する力、努力と工夫を継続する力を身に付けるためです。最後に、目標を達成するためのとおきの方法を教えておきます。

それは、「紙に書いて見える所に張っておくこと」です。

アメリカの有名な調査結果で、人生が上手くいっていると感じている人の大半が、自分の明るい将来について周りの人たちに頻繁に話していたそうです。そして、人生が極めて上手くいっている人と答えた人の殆どが、自分の将来の夢や目標を紙に書いて、何度も見直す習慣を持っていたそうです。

若いみんなは何者にもなれる可能性の塊です。その上、エネルギーに溢れている。今やっていることに無駄なことなど何もありません。なりたい自分に向かって、自分の目標や夢を紙に書いてみよう。

その一歩が、将来を大きく変えるかもしれません。



▲マナロ先生のジブン年表。「世界の子供達を幼児教育と愛情で笑顔にする」のが夢だそうです。ステキ!

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

Kaichi after-school childcare opened. かいち学童開校しました

ルイージ・イルストレ (かいち学童)



I am very excited to introduce to you our new school named Kaichi Gakudo. There are a lot of after school facilities here in Japan due to the increased number of working parents. For some, they are looking for a place for their children to stay until after work. We all know that there are already lots of gakudo everywhere due to the increase in needs. With that, we came up with the idea of establishing our own gakudo facility. We humbly announce that we are starting our pioneer branch in Sekime. Kaichi is already providing students with a good place to study and creating exemplary results in academic field but this time we will also provide families with a space not only to keep their children safe while they are working but also a space where they can grow and learn a lot of things in life. As children grow, they need people around them that will guide them and hone them in life. We, in Kaichi Gakudo, are aiming to provide children a safe, fun and extraordinary envi-

ronment that will help them with their intellectual, physical, and mental growth. We believe that learning is not just only through academics but also through experiencing different things in life. Creating another school was not easy because this is a different form from what we have been doing until now. However, the vision of the school is to give children knowledge and wisdom in life through our daily programs and activities. We will make sure that they will be guided with their homework, we will also give them programs & activities to ensure the development of their critical thinking skills, to guide them in reading books everyday and through our teachers, we want to equip them with good moral & good character. As a native English speaker, I want to incorporate English studies even in small ways (without them knowing), so that our students will learn daily conversational English not in a classroom-based manner. Kaichi Gakudo is not your ordinary gakudo,

it is a very extensive room with areas for arts & crafts, self-study area, book reading lounge, eating area for snack or lunch, and the most important things is a place to relax & play. It is a modern, wide, and playful learning environment that will give them a safe place not only to play but also to learn and grow as individuals. Our teachers are group of people who like children and have a big heart on guiding our students. Lastly, I would like to incorporate Leadership camps, Mind Education for personal development and seasonal events. I would like to invite everyone to come and see us at Kaichi Gakudo and experience the fun and the refreshing vibe of our new school! I hope that we will be able to touch many lives and through Kaichi Gakudo, we will be able to help the children relax & grow while giving parents a sound mind that they have a partner they can trust to take care of their children. Thank you for always trusting Kaichi with your precious children.



この度、新しく"かいち学童"を開校することになり、皆様にご紹介できるのを大変嬉しく思います。

日本では、共働き家庭が増えたため、放課後の学童施設がたくさんできています。実際、仕事が終わるまで子どもを預かってくれる場所を探している人がたくさんいます。ニーズが高まっているため、たくさん学童施設ができています。皆さんもよくご存じではないでしょうか。そこで私達開智総合学院も独自で学童を開校しようという運びとなりました。そしてこの度、開智総合学院関目教室内に学童の第一号教室がオープンしたことをお知らせさせていただきます。開智総合学院にはすでに多くの方に通塾いただき、勉学に励んでいただいておりますが、今回学童でも、保護者の方がお仕事の間、お子様が安全に過ごせ、その上お子様の成長と人生においてたくさんのお子様を育てる空間をご提供させていただきます。

かいち学童は、安全で楽しい環境で、お子様の知的・身体的・精神的な成長をお手伝いさせていただきます。私達は、学習とは学問だけでなく、生活の中でさまざまなことを経験することも大切だと思っています。

学童は今までの開智とは違う形なので、新しく開校するのは簡単ではありませんでした。かいち学童では、日々のプログラムや活動を通して、お子様に人生の知識と知恵を与えることを目標としています。学校の宿題の指導はもちろんのこと、思考力を養うためのプログラムや活動、毎日の読書、そしてお子様方に良いモラルと良い人格を身につけていただきたいと思います。私は英語を母国語とするのではなく、教室での授業ではなく、日常的な英会話を通して、教室での授業ではなく、日常でも(本人たちが知らないうちに)英語の勉強を取り入れていきたいと思います。かいち学童では、他の学童とは違い、美術や工作のためのエリア、

自習エリア、本を読むラウンジ、おやつやランチのための食事エリア、そして最も重要なリラックスして遊ぶための場所と、とても広い部屋で過ごしていただけます。モダンで広く遊び心あふれた学習環境で、遊ぶだけでなく学習もしていただき、成長していただける安全な場所をご提供いたします。私達講師陣は、子どもが好きで、大きな心で子ども達を指導することができる人が集まっています。最後になりますが、今後の活動の中に、リーダーシップキャンプや自己啓発のためのマインドエデュケーション、季節ごとのイベントなどを取り入れていきたいと思います。

かいち学童では、子ども達がリラックスして成長できるように、また保護者の方々には安心してお子様を預けていただけるパートナーとして、たくさんの方にお越しいただきたいと思っています。いつも開智総合学院に皆様のお子様を託していただき誠にありがとうございます。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

無駄を恐れない

高木 直也 (諸口教室)

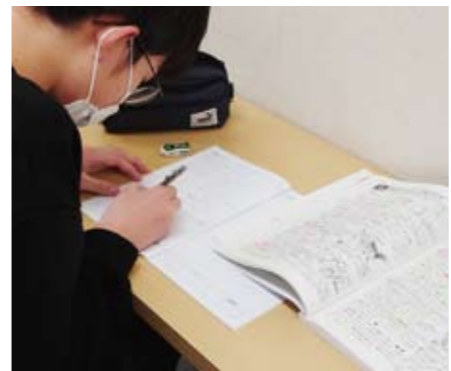
早いもので2022年も半分が終わろうとしています。

コロナ禍の収束の兆しが見えないなか、今年度の受験勉強もスタートしています。私、高木の授業中にお題目のように唱えているセリフがあります。

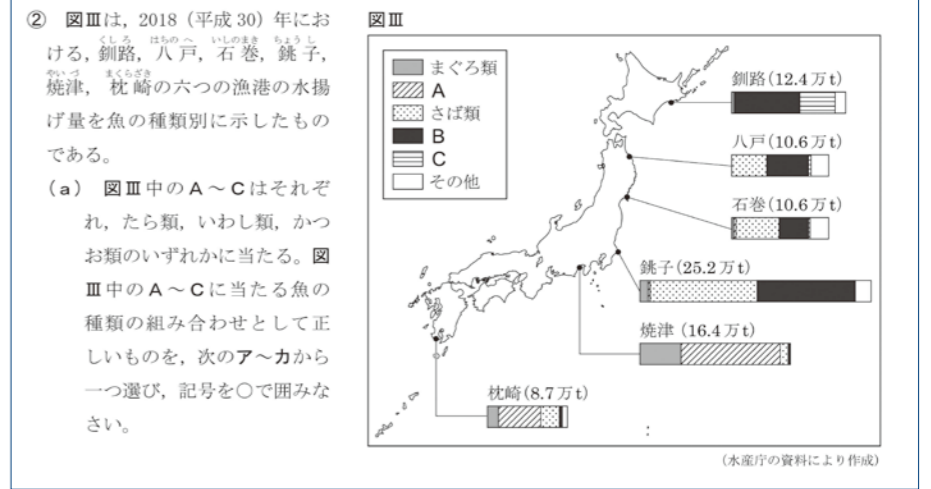
それが、「問題解いてまる付けしたら復習」

問題解いたら復習。問題解いたら復習…。授業を受けている生徒からしたら、「またそれか」と思っていることと思います。しかし、これが偏差値を上げるゴールドコンピだと思っています。

毎度毎度そんなセリフを吐いているので、たまに生徒から、「どうやって復習したら、いいんですか?」との質問を受けます。その時は必ず「例えば、平清盛を答える問題がダメだったとしたら、平清盛のことを調べるだけではなくて、平安時代全般のことを、教科書や資料集、WINPASSなどを使って調べたらいいよ。」と話します。こう話すとき、生徒はもれなく「ええっ!?!」といやそうな顔をします。きつと面倒くさいのだと思います。



なぜ面倒くさいのか。生徒の皆さんからすると、「手っ取り早く、楽に偏差値を上げたい」と思っているからだと思います。誰もしが一度はそう思うことでしょう。頻出ポイントを押さえた参考書もたくさんあります。私が数年前に作成した必勝問題集(通称:犬プリ)もその類です。しかし、近年の社会科の入試問題を見る限り、どうも、頻出問題をおさえさせるだけでは入試は戦えないように思います。



例えば、2021年大阪府公立高校入試問題 社会科のこの問題。

「たら」や「いわし」や「かつお」がどこの港で多く揚がっているかを問うています。おそらく、銚子や焼津、釧路の漁獲量が多いところまでを勉強していた生徒は多くいたとは思いますが、それぞれの港でどんな魚が揚がるのかまでを思い至った生徒はどれほどいたのでしょうか。また今年、2022年の公立入試においても、藤原京の「場所」を問う問題が出題されました。飛鳥時代、天武天皇の皇后であった持統天皇が奈良県に造営した。ということころまでは今年受験生は勉強していたとは思いますが、今回は何と奈良県の中に選択肢が2個。これは問題を解いていてやられたと思いました。「藤原京って奈良県のどこなん?」と思いを詳細に調べていた生徒でないと解けなかったと思います。高校のコース名で多く採用されている「探究」という言葉。探究とは物事の真相や価値、在り方などを深く考えて、筋道をたどって明らかにすること。今の高校生にはこのような力が求められているのだと感じます。単純に「出題されそうところだけを勉強する」のではなく、「出題された人や物か一体何なのか、どういう意味を持つのかまで調べて考え

る」と踏み込んで勉強してみましょう。どうせ出題されないならやっても無駄じゃない?と思うかもしれませんが、その一見無駄に見える勉強が、重要なテストや入試で皆さんを救うかもしれませんよ?

